

「平和をつくり出す  
宗教者ネット」や「平

# 武器輸出 多くの人反対

## 東京・渋谷 宗教者4団体が行動



イスラエルのガザ地区での侵攻と岸田政権の大軍拡に反対の声をあげた祈念行動＝10日、東京都渋谷区

和を実現するキリスト者ネット」など4団体が呼びかけてJR渋谷駅前

前で10日、「殺すな！パレスチナの市民のいのちを救おう！岸田大

軍拡反対！武器輸出反対！渋谷ハチ公前第20回連続祈念行動」を行いました。宗派を超えた宗教者らが、パレスチナ自治区ガザ地区でのイスラエルによる侵攻・虐殺と岸田政権が進める軍拡に反対の声を上げました。

辺多嘉子さん(79)がマイクを取り、日本がすべきはいかに戦争にならないようにするかだけだと語りました。「岸田首相はアメリカに行き、アメリカの古い武器を高額で買いました。そして今日本は武器をつくって売ろうとしています。とんでもないことです。多くの市民は反対しています」と訴えました。

日本カトリック正義と平和協議会の昼間範子さんは、今年も日本の軍事予算が莫大(ばくだい)な金額であることを強調。「そのお金をガザで手足を助けた子どもたちを助けるために使えばいいじゃないか。能登の被災者たちにテントを買いましょう」と憤りました。

カトリック信者の渡